



<https://sankakusha.or.jp>



〒171-0044
東京都豊島区千早1-11-12
Tel 03-6905-8287
Mail info@sankakusha.or.jp

サンカクシャメンバー

荒井 佑介	坂井 麻紀子	山本 賢人	山森 日菜子
高橋 麻子	坂本 竜作	内田 千春	渡邊 愛香梨
安谷屋 貴子	塚本 いづみ	神谷 陽太	マオ (仮名)
石塚 大輔	土岐 三輪	田中 耀介	
伊藤 知紗	福田 あや	永綱 隼人	
大畑 麻衣花	細貝 朋央	藤本 恵里香	

(退職者)

木村 遥香
篠田 麻友
前沢 学

役員

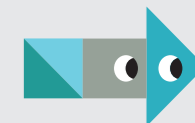
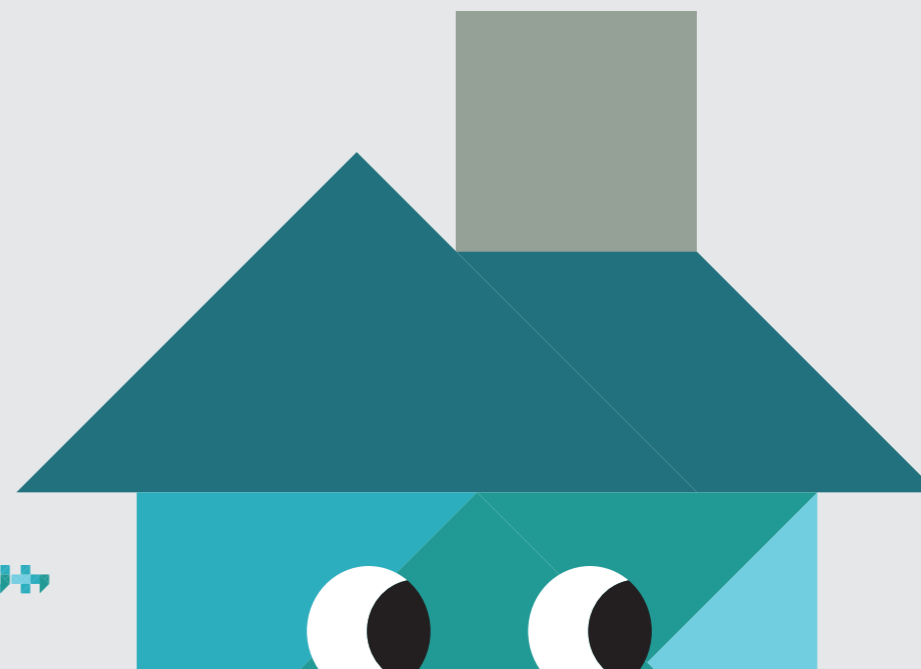
荒井 佑介
菊地 信好
安藤 祐輔
池谷 聡
高橋 麻子
西村 弘之

スペシャルサンクス

遠藤 夏海 土田 毅
川島 庄貴 野口 勝央
隈 有子 塙 創平
高田 真希
高橋 英輔
田中 成幸



Annual report 2020





Message

生きていく意欲がない若者に、 安心できるつながりと 社会にサンカクする自信を

サンカクシャを立ち上げて、これまでの境遇から「学習性無力感」を持ち、何かに取り組もうとする意欲を持てなくなってしまった若者たちと多く出会ってきました。子どもや若者を取り巻く支援は増えたものの、自ら相談にいけない、そんな若者が多くいることに気づきました。サンカクシャは出会う若者一人ひとりに寄り添い、若者のペースに合わせて一緒に色々な経験を重ね、社会にサンカクするための伴走支援を行っています。

代表理事

荒井 佑介

10年ほど前から中学生対象の学習支援に携わり始め、高校進学後に、中退、妊娠出産、進路就職で躓く若者を多く見たことから、2019年サンカクシャを立ち上げる。



LEVEL UP!



vision

若者が
どんな道に進んでも、
生き抜いていける社会

心くくルール

自分の将来に少し前向きになって

社会に出ていけるように

若者が選択する道を尊重し、どんな道に進んでも生きていけるように、「将来こうなってほしい」と目標を決めてしまうのではなく、一人ひとりに必要な伴走をしたいとサンカクシャは考えています。「こうあるべき」という社会のルールから外れて自信を失う若者が「生きていっていかも」と思いながら社会に出ていけるよう、サポートしています。

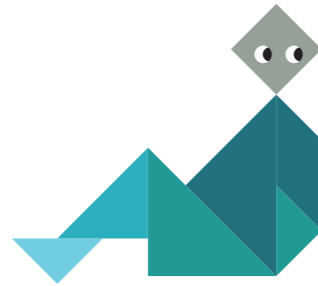
若者が生き抜いていける

環境をみんなで支える

親や身近な大人を頼れない若者たちが一人で生きていこうと思った時、仕事や住まいなど困りごとは尽きず、前を向き続ける気持ちを保つことも難しい…。そんな若者が、支えとなるつながりを持ち、自分や社会を知りながら一歩ずつ前に進める。そんな環境を「若者のために何かしたい」という大人たちみんなで支える未来を、サンカクシャはつくりまます。



意欲のない若者にこそ、
手を差し伸べたい



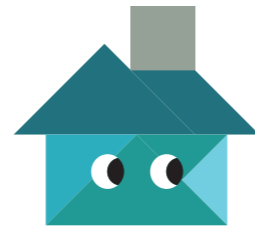
ツナグ

「知らない人と会うのが怖い」「活動に参加するのが不安」など最初の一步がなかなか踏み出せない若者には、一人ひとりのペースに合わせた個別支援で寄り添います。

若者に「届く支援」であることを大切にしています。

「ツナグ」のカツドウ ————— p06

コベツシエン / イベント



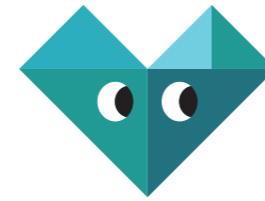
タマリバ

「ツナグ」活動などで出会った若者が、素の自分でいられて自由に過ごせる居場所を都内3拠点で運営。

社会サンカクに積極的でない若者にも居心地のいい場所でありながら、社会「サンカク」するきっかけがある場です。

「タマリバ」のカツドウ ————— p08

要町 / 本郷 / 駒込



サンカク

「タマリバ」で自分の進む道を考えるきっかけを得た若者たちに、社会「サンカク」につながる体験と挑戦の機会を用意。

地域や企業、若者を応援してくださるサポーターの方と連携して、社会や自分を知るプログラムを作ります。

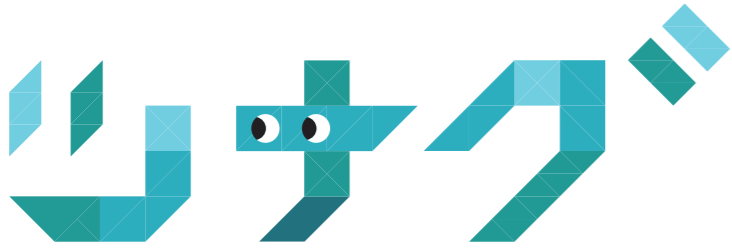
「サンカク」のカツドウ ————— p10

シンロソウダン / ブカツ
バイト / シェアハウス / カフェ



LEVEL UP!

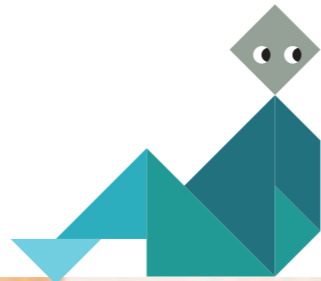




人と会うのが苦手、怖い。いきなり居場所に行ったり、将来を考えるのは難しい。そんな若者が社会サンカクのための一歩を踏み出せるよう、1対1の信頼関係を築くことから始めます。

次第に「この人とならやってみよう」と、外出や新しいことを始めていきます。

「届く支援」を
一対一の信頼関係で



コベシエ

参加人数：17人（実数）

イベント

実施頻度：月1回（9月スタート）

コロナ禍で孤立する若者たちに

コロナ禍でより頼り先が少なくなった若者たちと一緒に、家庭訪問やカフェでゲームをしたり、雑談したり。LINEでのやりとりを増やすなど「気にかけてくれる人」の存在を感じられる日々の、何気ない関わりが若者を支えています。

支援に繋がりにくい若者たちに

卒業、中退など進路を考えるタイミングだが、いきなり知らない人に相談するのは怖い。「進路」と言われると気が重くなる。そんな若者と繋がるため、若者が気軽に参加できるイベントを実施。支援のきっかけ作りを行っています。

オンラインでつながる新しい形

オンラインでも交流できるよう「オンライン訪問」にチャレンジ。オンラインでいきなり関係を築くことに苦戦しましたが、対面での個別支援と同様、雑談やゲームを通して共に時間を共有することで、関係を深めることができています。

ボードゲームをしながら進路相談

行政や地域の支援団体で見守っている若者が、新たな一歩として参加しやすいイベントを開催。まずは遊びに来た若者とボードゲームなどで盛り上がることで、一気に距離が縮まります。遊びの途中で自然と学校の話や進路の話が出てくるように。



まずは「ただ一緒にいて楽しい」関係を

From 個別支援担当 坂本

若者と関わる時に大切にしているのは、まずは「この人といてもいいな」と安心してもらえること。若者一人ひとりの状況に合わせて関係が継続していくと、どんなことに興味があるかという友達同士のような会話や、親にも学校にも言いづらいような家庭の話なども聞くことがあります。

目の前にいる〇〇くんと純粋に楽しくコミュニケーションをし関わることで、次に踏み出す一歩を後押しできたらと思っています。

助成団体：ゴールドマンサックス/公益財団法人パブリックリソース財団、コロナ給付金寄付実行委員会/公益財団法人パブリックリソース財団、社会福祉法人文京区社会福祉協議会、独立行政法人福祉医療機構

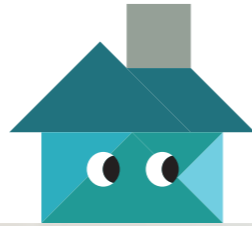


つな
がる
場

社
会
へ
の
第
一
歩
に

安心できる大人や仲間とあって、くつろいだり食卓を囲んだり…自由に過ごせる若者の居場所を、都内3拠点で運営中。

はじめは人と接することが苦手な若者が、ここで過ごすうちに進路を考え、社会を知るきっかけを掴む。社会サンカクの入り口のような存在です。



要町

実施頻度：約週2日 14:00-20:00
参加人数：34人(実数)
406人(のべ)

楽しさだけでなく、社会を知るきっかけが身近にある

一軒家をそのまま利用し、集まる若者によって毎日雰囲気が変わるタマリバ。友達の家のように遊びに来られる一方で、気軽に社会サンカクへの一歩が体験できます。タマリバ内でのバイトや職業体験、社会人との交流などを実施。スタッフから「次〇〇と一緒に参加してみようよ!」と声をかけられるなど、社会サンカクへ踏み出すきっかけがあります。

本郷

実施頻度：約週2日 14:00-20:00
参加人数：13人(実数)
拠点提供：株式会社シード

安心できる人が集まる、アットホームな「僕たち」の居場所

本郷拠点では中高生がメインで集まり、みんなで一緒に料理をしたり、外出をしたり。同世代の仲間や安心できる大人と共に過ごす経験を、積み重ねています。建物内の別フロアではサンカクシャが運営するカフェも併設しており、カフェで職業体験など、仲間と一緒に新たなことに挑戦しながら自信と関心を伸ばしています。

駒込

実施頻度：約週2日 14:00-20:00
参加人数：29人(実数)

「もし一人暮らししたら」と将来について考えるきっかけに

2020年9月にオープンした3拠点目のタマリバです。居住支援のためのシェアハウスのリビングを利用。遊びに来る若者が一人暮らしを想像して、将来について考えるきっかけになる場です。



「ここに来ないと
もったいない!」と
思うように

From 高校3年生 N.Y さん

高校がしんどかったとき、家にいても親がいて煮詰まってしまうから来るようになったけど、タマリバでは安心して過ごさせています。新しい学校の候補や相談にのってくれたのも、ここに来てよかったなと思うことのひとつ。ここに来るようになってから親との喧嘩が減ったのもよかったなと思います。

今では、良い意味でハメをはずせる場所で、人と触れ合う回数が増えて、皆といえるのが楽しい感じになってきました。



サ シ カ ク

一歩一歩進む
社会サンカクへ

若者が社会に出ていくとき、周囲の人とつながりを持ちながら生き抜いていけるように、少しずつステップを刻みながらサポート。
社会人との交流や職場体験など、自分に合ったチャレンジをしていく中で自信をつけ、将来に向かって一歩一歩進んでいきます。



シロソウダベン

実施回数：18回
参加人数：27人(実数)

「社会人」のリアルを知る

若者が、仕事に対して具体的なイメージがわくように、社会人とのフランクな交流会を開催。社会人の一日のスケジュールや、仕事選びのきっかけ、キャリアや挫折の話などに若者も興味をもち、等身大の社会人を知る機会となりました。

オンラインでよかったことも

若者・社会人・スタッフが、5~6名で1グループとなり交流。コロナ禍のためすべてオンラインでの開催でしたが、画面越しだと若者が初対面の大人に会うことの緊張感が和らぎ、少しハードルが下がることで参加しやすくなるようでした。

ブカツ

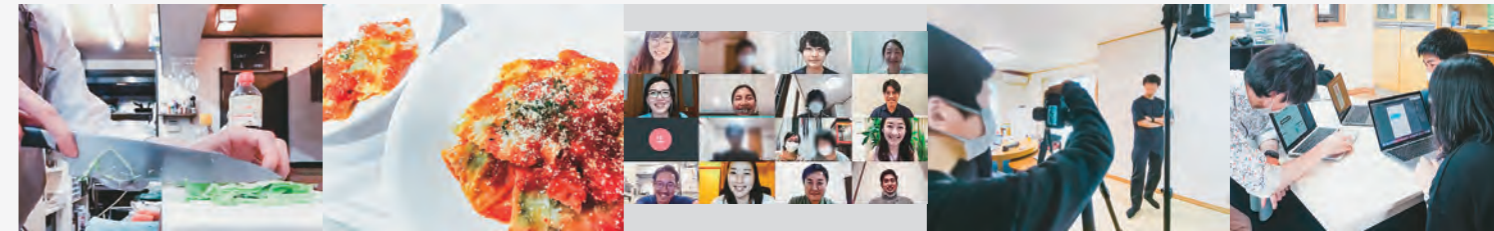
実施回数：111回
参加人数：49人(実数)

「仕事」を知るワークショップ

作業に挑戦しながら仕事内容を知る「ブカツ」を開催。デザインや動画編集、ウェブ広告、ライティングなど、若者が関心を持ったテーマについて講師をお招きしました。仲間と一緒に挑戦し、「自分でもできた」と自信をつけた若者も。

初めの一歩として社会人と交流

社会人を身近に感じられるように、料理やゲーム、スポーツや英会話など、若者が楽しく取り組めるイベントを実施。若者と社会人が一緒になって、ただ楽しむことでフラットな交流が生まれ、一気に心の距離が縮まりました。



仕事探しに 少しずつポジティブに

From 23歳 H.Nさん

進路相談会に参加してみて、経験が豊富でなくても様々な職についてる人がいることや、大企業で働く人が意外と気さくで十人十色なことを知りました。これまでは仕事を探すとき「嫌な人がいたら、続けられなかったらどうしよう」と考えてしまっていたのですが、仕事やそれ以外の事も以前よりもポジティブに捉えられるようになりました。少しずつ変われているのかなと自分自身でも思えるようになって、とてもありがたい活動だなとしみじみ思っています。

助成団体：株式会社セールスフォース・ドットコム、公益財団法人ベネッセこども基金、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
連携企業：株式会社アイタップ、株式会社 エル・ティール・エス、株式会社シード、株式会社セールスフォース・ドットコム、株式会社ハックルベリー、野口デザイン事務所、ワンドロップス株式会社

バイト

参加人数：22人（実数）

安心できる場で「働く」を体験

「知らない人と働くのが不安、しんどい」という若者のため、企業から依頼を受けたバイトをタマリバ内で挑戦できる機会を用意。仲間やスタッフに見守られながら、働く一歩目を踏み出し、働く自信を身につける機会となっています。

コロナ禍でひとり頑張る若者へ

2020年度はコロナ禍でバイトや仕事が減り、生活費に困る若者からの相談が増加。仕事探しを新しく始めるのがしんどい状況の若者には、本人のペースに合わせオンラインやタマリバ内でバイトに参加できるサポートも開始しました。

カフェ

Special thanks：川島庄貴

DAISY BEANSは、期間限定カフェで2021年8月末で営業を終了いたします。

社会が「しんどい」若者が「働く」を体験するカフェ

2020年の夏にカフェ「DAISY BEANS」をオープン。アルバイトの面接を突破するのがハードルになったり、仕事を続けるのが難しかったり、そもそも自分の将来について向き合う気持ちになれなかったり…。そんな若者たちが気負

わず仲間と一緒に「働く」体験をし、働く力を磨ける場です。若者が店員となり営業するほか、アルバイト初挑戦の若者に向けてカフェ店員体験も実施しました。



シェアハウス

入居人数：4人（実数 / うち2名卒業）

コロナ禍で住まいを失う若者へ

コロナ禍で収入が減ったり、寮付きの仕事がなくなったり、若者からの「住まい」に関する相談が増えたため、2020年7月にシェアハウスをオープン。同世代やスタッフとの交流も多いので、賑やかで温かみも感じられる場です。

働く前に安心できる住まいを

ここで暮らす若者は、住まいだけでなく仕事にも「自信がない、続かない」などの不安を抱えています。自分のこれからの向き合っていくため、まずは安心できる住まいを確保。社会サンカクに向けてサポートを受けつつ新しい仕事などに挑戦していきます。



若者主導でメニュー開発やクラファン、開店準備に挑戦

スタッフと若者数名がチームとなって、コンセプト決めからメニュー開発や内装、開店資金集めのクラウドファンディングなど、ひと夏かけて一から作り上げました。クラウドファンディングでは、151名の方々から応援いただきました。若

者たちもお客様からの声援や応援のメッセージなどを通じて「やってみよう、頑張ってみよう」と一歩踏み出したら、こんなにたくさんの方から応援してもらえるんだ」という「想い」を受け取る大切な経験を積めたようでした。

人と関わるのも
悪くないなと
思うように

From 22歳 Y.Tさん

寮付きの仕事を辞めてしまい住む場所が無くなって悩んだ末、相談したことがきっかけで入居しました。ここでは色々な人と関わる機会が多く、最初の頃は「嫌やな、しんどいな」と思っていたのですが、「でも人っていい人もいるんだな」と思えるようになった気がします。今は仕事を続けること、それから入居したての頃のように、支払いできず携帯を止められるということがないよう頑張っています。この場所がなかったらのたれ死んでいたと思います…！

自分たちが
応援されている
ことを実感

From 若者店長 マオちゃん

初めはコーヒーの淹れ方を覚えるだけでも大変でしたが、皆で挑戦した時間はとても楽しく、クラファンで目標達成した時も全員で本当に喜び感動し、1から始めることが新鮮でした。開店当初は接客が苦手でお客様に声をかけられると助けを求めてきた子が、今では頼もしく変化しているのを近くで見ると私も嬉しいし、私自身も成長できていると感じています。応援してくださっている多くの皆さま、本当にありがとうございます。

イイネコ

目の前の若者にできる 社会サンカクを開拓

2020 スキルより自信や意欲が向上する体験の方が、若者が次の一步を踏み出しやすいこともわかり、サポート方向を再確認できました。



2021 若者一人ひとりの社会サンカクに向け、参加しやすい雰囲気や配慮は残しつつ、プログラムとして自信や意欲が向上する体験を作っていきます。

4月

タマリバ2拠点の一時閉鎖
PC・Wi-Fiを無償貸出。
オンラインで交流を継続

6月

オンライン職業訓練&バイト
「バイトが減った」と相談が相次ぎ、仕事を提供

8月

カフェ、オープン!
若者と一からカフェをオープン。夏休みを捧げクラファンにも挑戦

10月

仕事を知るワークショップ
デザインなど学ぶ機会を作るも、スキル獲得は若者に響かず…

12月

スタッフ採用月間!
スタッフの新規採用を強化。活動やサポート体制を見直す機会に

2月

拠点再開・体制の強化
サンカクシャが目指す未来の言語化を開始

都内 緊急事態宣言

都内 緊急事態宣言

5月

お昼のみタマリバを再開
若者から「タマリバを開けてほしい」との声が急増

7月

シェアハウスで居住支援開始
仕事と住まいを失った若者に相談を受け、住まいを確保

9月

個別支援を強化
個別支援担当が加入！対人不安のある若者の個別サポートも充実

11月

企業研修プログラムを実施
研修で、参加した社会人と共に「自立」に改めて向き合う

1月

本郷拠点・カフェ一時閉鎖
オンラインの支援で若者と改めて距離が縮まるケースも

3月

社会サンカクのプログラム化
スタッフが4名増え、次年度に向けて始動



カフェメニューの試作品作り!



オンラインにも慣れてきた!





245名の方からのご寄付
に支えていただきました！



寄付で若者を支える

サポーターになりませんか？

寄付する



一人ひとりの若者に寄り添いサポートする活動のスタイルは、皆さまから託していただいたご寄付によってここまで続けることができました。今後も共にこの活動を作っていくために、若者へ寄付でのご支援よろしくお願いたします。法人寄付もお待ちしております。ホームページよりお問い合わせください。



小黒 弘之さん
外資系ITマーケ

サンカクシャのコミュニティを軸とした活動や、若者を対象としている点に大変共感しました。私自身が過去に大学生活や就職に躓き、社会に出る最初の一步を踏み出す勇気が出せず苦労したので、微力ながら若者の背中をおす一助になれば幸いです。



M.Sさん
広告会社勤務

新しいやり方を模索しながら、一人ひとりの若者に丁寧に寄り添うサンカクシャにとっても共感しています。現在の分断された社会の中で生きづらさを感じる若者が、多様な人との繋がりや小さな体験を積み重ねることで元気になっていく姿と一緒に見たいと思います。

サポーターコミュニティ、はじめました！

オトナリサン

若者にとっての“心のお隣さん”として、一緒に若者の変化を感じ、サンカクいただける場があればと思い、サポーターコミュニティ「オトナリサン」をオープン。オトナリサン限定でスタッフが若者の変化や活動の難しさなどを発信中*。ぜひ、オトナリサンにご参加いただき、一緒に若者と伴走しましょう！

*3,000円以上の寄付者の facebookグループ

2020年度 活動計算書

2020/4/1 - 2021/3/31

経常収益計	59,719,748
経常費用計(事業費+管理費)	42,375,997
当期経常増減額	17,343,751
当期正味財産増減額	¥17,343,751

経常費用(事業費)

科目	特定非営利活動法人に係る事業	その他事業	合計
人件費			
役員報酬	4,500,000		4,500,000
給料手当	14,471,564		14,471,564
その他経費			
業務委託費	7,351,556		7,351,556
会議費	23,454		23,454
旅費交通費	936,463		936,463
通信運搬費	451,962		451,962
消耗品費	3,641,325		3,641,325
水道光熱費	353,439		353,439
地代家賃	3,873,000		3,873,000
保険料	115,648		115,648
支払手数料	552,537		552,537
新聞図書費	38,587		38,587
雑費	1,276,973		1,276,973
計	37,586,508	0	37,586,508

経常収益

科目	特定非営利活動法人に係る事業	その他事業	合計
受取会費			
正会員受取会費	90,000		90,000
受取寄附金			
受取寄附金	4,324,151		4,324,151
受取助成金等			
受取民間助成金	47,185,600		47,185,600
事業収益			
受託事業収益	613,630		613,630
自主事業収益	3,342,980		3,342,980
雑収益			
感染拡大防止協力金	2,000,000		2,000,000
持続化給付金	2,000,000		2,000,000
講演料	163,300		163,300
受取利息	87		87
経常収益計	59,719,748	0	59,719,748

経常費用(管理費)

科目	特定非営利活動法人に係る事業	その他事業	合計
人件費			
役員報酬	900,000		900,000
給料手当	473,303		473,303
法定福利費	2,175,576		2,175,576
その他経費			
業務委託費	90,800		90,800
会議費	8,278		8,278
旅費交通費	74,330		74,330
通信運搬費	80,491		80,491
消耗品費	102,563		102,563
保険料	22,000		22,000
租税公課	20,950		20,950
支払手数料	742,044		742,044
支払利息	78,784		78,784
雑費	20,370		20,370
計	4,789,489	0	4,789,489

経常費用計 42,375,997 0 42,375,997

その他助成団体：大和証券グループ本社/公益財団法人パブリックリソース財団、公益財団法人 SOMPO 福祉財団、特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京